

## 自治基本条例づくりにおける合意形成勉強会 講演メモ

2007年2月9日(金)

### I. 市民参加型の策定プロセス

行政の計画や条例などを市民参加型で形作るためには、進め方（プロセス）が重要。だれと、いつ、何について、どのようなコミュニケーションをとればいいのかについての方程式がある。

### II. 「聴く」コミュニケーション

コミュニケーションでは、相手の「立場」ではなく、発言の背後にある真のニーズ、つまり、「利害・関心」に焦点をあてることが重要で、両得「ウィン・ウィン」を探る努力が必要。対峙しないためには、先ず聴くことが必要で、相互理解と共有が大切。自分の主張を通し、相手をなぎ倒すようなコミュニケーションでは、結果として得るものは少ない。

### III. 会議の進め方

会議運営にも最新技術を取り入れるべき。プロセスとルールを共有し、ファシリテーターを投入すれば、生産性が高まり、フラストレーションが減る。なんとなく議論するのではなく、初めに会議の成果を明らかにし、そこに至る道筋を十分に練った上で進めるべき。